

第6回アジア・スマートシティ会議における「横浜宣言」

私たちは、アジアにおけるスマートで持続可能な都市の成長を実現するため、都市間協力や、都市と国際機関との連携を強化することを目的として、過去6年間にわたって「アジア・スマートシティ会議」を開催してきました。

この第6回会議では、「スマートで持続可能な都市の成長に向けたマーケットプレイスの構築」をメインテーマとして、アジア及び太平洋地域におけるスマートな都市ソリューションを共に創造するための議論が行われました。20を超える都市、国際機関、専門機関及び民間セクターの代表者が集まり、様々な問題や専門知識を取り上げ、住みやすく、包括的で持続可能かつ強靱な都市社会の実現を目指し、実践的な議論が行われました。具体的には、テーマ別に以下の4つの分科会において、様々な専門家の意見が交わされました。

- (1) 汚泥処理を含め、廃棄物および廃水を処理するスマートな方法
- (2) 低炭素な都市開発のための省エネルギー化と、地域社会へのスマートな都市交通システム導入方策
- (3) 先進的な情報通信技術（ICT）や、スマートな都市管理のためのビッグデータの一層の活用
- (4) アジアにおけるスマートな都市開発に向けて日本の経験を引き出す効果的な手法

全体会議では、分科会の結果や、世界銀行とアジア開発銀行が共催したスマートな都市開発会議の成果をとりまとめました。どのような情報を交換すべきか、そして都市問題の具体的な解決策を見つけるために、都市、各機関、民間企業がどのような役割を果たすべきかについての議論と通じて、参加者は以下の考えに至りました。

- 1 複雑で多面的な都市課題に対応するためには、それぞれの都市のリーダーが強い指導力を発揮し、市民、学術機関や企業と効果的な協議を進めなければなりません。導入可能な最善の解決策を国際社会と共に学び、創出することが不可欠であり、現在のデジタルメディアやネットワークワーキング機能は、都市のリーダーたちの目標達成を促します。
- 2 他都市の成功事例を世界の他の地域に導入するためには、市民や行政、企業の意識改革により社会を変革し、新たな都市経営の手法を取り入れることが必要です。
- 3 多様な参加者による多角的な議論は、効果的で革新的なソリューションを生み出す源泉です。「アジア・スマートシティ・アライアンス」のようなプラットフォームは、アイデアや経験、イノベーション事例を交換する理想的な場として機能します。
- 4 21世紀は都市の世紀です。都市は、効果的に地域の課題解決策を提供できます。各都市は、国際社会の目標達成に向けて、国連持続可能な開発目標（SDGs）、第3回国連人間居住会議（HABITATIII）で採択されたニュー・アーバン・アジェンダ、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択されたパリ協定の枠組みなどを受け入れる大きな責任を負っています。
- 5 各都市が、スマートな都市開発の成果を国際社会と継続的に共有していくことが重要です。

私たちは、この宣言の内容を、今年11月にドイツのボンで開催されるCOP23（国連気候変動枠組条約第23回締約国会議）をはじめ、関係する国際会議において報告します。